

中央地区・城北地区交流

# 新春かるた大会 松本神社で初の開催

各カテゴリーの時間は、1時間でおおむね2試合から3試合、対戦相手を変えて行いました。小学生は、学校の授業で習っている子どもも多く、少しでも多

く札を取るために、必死で取り組んでいました。また、漫画「ちはやふる」の影響か、競技かるたに興味を示し、読み手を名乗り出てくれる子もいました。

1月17日(土)に、中央地区と城北地区の子ども会育成会主催の第1回新春かるた大会が、松本神社拝殿で開催されました(共催:大手公民館・城北公民館)。

正月の風物詩、百人一首を、地域で楽しんで世代間の交流を深めようと開催された大会は、競技かるた形式で、100枚の取り札の内、50枚をランダムで選び、それを2人で取り合い勝敗を決める方法で行われました。



子どもたちで大盛況



真剣勝負中

大手公民館 遠藤

一般小学生低学年・小学生高学年・中高年生の4つのカテゴリー毎で行われ、総勢23名の参加で行われました。参加者は、普段は立ち入ることが出来ない松本神社拝殿に集合し、内部を観察したり、参拝者に応援されたりしていました。

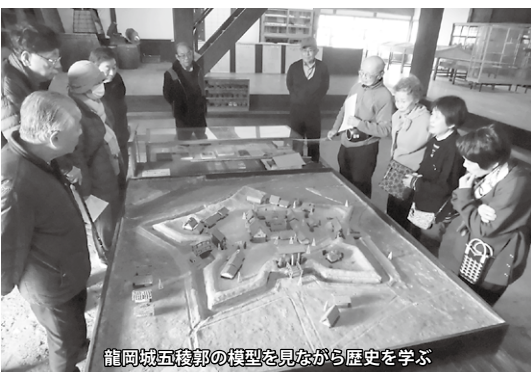
今回は、最初の開催ということもあり、大会があったと後で聞き「参加したかった」という意見も公民館に寄せられました。そのような意見もあり、来年も開催する予定です。今回は、一般の参加者が少なかったり、中高生の参加がなかったため、来年は、ぜひ多くの皆さんに参加していただき、盛大な大会になることを望みます。

前日の雨が心配されましたが、2月26日(木)に大手公民館・町内公民館長会共催の「歴史文化研修講座2nd」が行われました。共に国史跡の佐久市・旧中込学校と龍岡城五稜郭へ、総勢22名で行ってきました。コートなどいろいろな暖かな日差しの中、歴史にふれる有意義な研修となりました。バス内では善光寺街道や中山道のお話を、また、佐久市に入ってから、台地に農業用水を引いた市川五郎兵衛のお話などを聞きながら、楽しく過ごすことができました。

旧中込学校は旧開智学校より4か月前に建築された、長野県では現存する最古の擬洋風学校校舎です。校内に残る古い教材の数々に、当時の子どもたちの姿を思い浮かべることができました。また、龍岡城五稜郭では保存会会長の鷺見さんのお話を聞き、普段は入れない現存する唯一の建物「お台所」にも入ることができました。今ではたぶん確保できない地元の方が供出した太い梁や柱が惜しみなく使われた内部の姿に、驚きの声をあげていました。

道の駅でのお買い物、昼の味噌鍋御膳、帰りのおいしい卵を

## 歴史・文化研修講座 2nd



龍岡城五稜郭の模型を見ながら歴史を学ぶ



旧中込学校を視察

利用したアイスクリームも含めて、とても満足感のあった一日となりました。

上條 直利

# 長元坊 チョウゲンボウ

## 「故郷」

私の故郷は松本市奈川です。梓川沿いに上高地方面へ、そして、奈川渡ダムから分かれて左方面へダム湖沿いに行ったところにあります。

春は、濃いピンクが特徴の御殿桜が、5月初旬には川沿いに咲き誇ります。そしてタラの芽、ワラビに山ウド等、山菜の宝庫です。

夏は、白い花が一面に咲く蕎麦畑がとても爽やかです。

また、秋は山々が赤や黄に染まり、紅葉がとても綺麗です。

冬は寒さも厳しいですが、子どもの頃はスキー、そり遊びをしたものでした。

標高1,300メートル級で採れる蕎麦は、風味が良く名物の「とうじそば」は美味で、新蕎麦の頃は蕎麦好きの人たちが大勢訪れます。

高校進学のため、故郷を離れ松本市内での生活を始めました。それから60年余りが過ぎましたが、昭和40年頃の松本は都会でしたので、田舎から出てきた私には、戸惑うことがたくさんありました。

今、実家は空き家になっていますが、時々帰省し風を通したりしています。私にとって



そこに実家があるということ、とても心の支えになっていきます。帰った時は、お世話になっていたおばさんに「帰ってきたか、お茶でも飲んで行きな」と、声をかけてもらいます。その時は「帰ってきたんだ」と、ほっとします。

故郷を離れて何年たっても、温かく迎えてくれる故郷がある自分は幸せだと思います。

多湖 佳子

watashi no rirekisyo

## 私の履歴書

vol.12  
上土町  
佐原文子

「理由は自分でもよくわかりません。気がついたら松本に引っ越してしました」

はじめまして。松本暮らし1年生です。2025年5月我が家は千葉県館山市から引っ越してきました。初めてお会いする方々から引っ越しの理由を問われるたび、冒頭のように応えています。大抵「きょとん」とされてしまいます。

「理由は」に設置しています。バクテリアの活動が活発になる夏はもちろんなこと、マイナスイオンになった(驚)松本で迎えた初めての冬も、キエーロに投入した生ごみは10日程で消滅しています。

キエーロを使うようになってから、買い物行動や料理内容が変わり、フードロスもほとんどなくなりました。夫婦ふたりの暮らしから出る(出さない)生ごみは、松本市全体で考えればわずかな量かもしれませんが、昨秋、某所でキエーロについてお話をする機会があり、その場にいた方が「プランダ」コンポストをスタートさせ、また別の方は、キエーロを始めようと準備中であると聞きました。こんな風にキエーロがびわくするほど減ったらいいな、と思う今日この頃です。

自分たちは今とても恵まれた環境(ひと・もの・こと)にあります。出会う人がみな優しく惜しみないアドバイスを授けてくださるおかげです。人生は冒険旅行、これからはピカピカのデキゴトと共に松本暮らしを楽しみたいと思っています。どうぞよろしくお願いたします。

## 中央地区の樹木 26

### ヤドリギ(宿生木)

- ・ 分 類: ヤドリギ科 ヤドリギ属
- ・ 分 布: 日本、中国大陸、朝鮮半島等
- ・ 特 性: ケヤキやエノキ、ブナ、ミズナラなどの落葉広葉樹を宿主とする寄生植物で種を包む果肉が強い粘性を持ち、相手樹木の枝などに張り付いて根を出し成長します。大きさは30〜60cmで常緑広葉樹に分類されます。

冬になり、公園のケヤキが葉を落とすと、枝のあちらこちらに丸い塊が見えます。あれがヤドリギで、中には近く付いている木もあります。果実は黄色でとても甘く(人も食べられます)鳥が餌としてついでに、糞として他の木へ運ばれます。鳥でも消化することが出来ないほどの強い粘性を果実は持っています。

別名は「鳥もちの木」と言います。

▲ヤドリギ(宿生木)